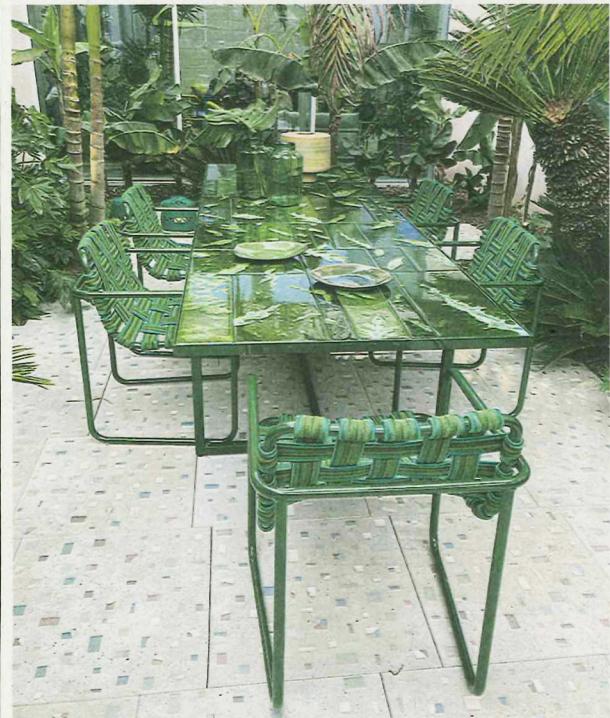




# 伝統と革新、家具に独創性

---

イタリア・ミラノで毎年春に開催される「ミラノ・デザイン・ウィーク」は、本会場ローラ・フィエラで開かれるミラノサローネと市内で開かれるフォーリサローネ（サローネの外）を総称したものだ。歴史的建造物を生かした展示や旗艦店を活用した新作披露など、今年も独創的なデザイン発信が見受けられた。



カッシーは世界的な名作を維持するために、数年前から「アイコニックなデザインの復活」を手掛けている。今年も時代を超えた名作を再構築した。

「ナ・パースペクティブ20  
24」をもとに、名だたるデ  
ザイナーによる家具などが披  
露された。

三井市内の高級家具店が立ち並ぶドゥアリーニ通りでひとときわにぎわったのは、イタリアを代表する名門ブランド「カッソーナ」の旗艦店での新作発表だ。2015年にアートディレクターに就任したスペイン出身のインテリアデザイナー、パトリシア・ウルキオラ氏が構想した「カッソ

歴史的建物や大空間舞台に発信

ソファが鎮座している。イタリア人建築家のカルロ・スカルパが1973年にデザインし、今年復刻されたソファ「コルナーロ」だ。クッション材はポリエチレンレフターレト(PET) 繊維などを使用した。

同じフロアには、マイケル・アナスター・デス氏による位置する「B&Bイタリア」カッシーナの旗艦店の隣に新作の大理石のローテーブルをコーディネートした。同店の新作チャエラはシャルロット・ペリアンによる木製のテーブルとの組み合わせでも軽やかにみせた。店内に広がる伝統と革新のコラボがカッシーナの確固たる理念を感じさせる。

The image consists of two vertically stacked photographs. The top photograph depicts a modern interior space featuring a large, round, multi-tiered light fixture with numerous small, glowing bulbs. Below it is a low, rectangular coffee table with a light-colored, textured surface. In the background, there's a large sofa and a glass-topped side table holding books and decorative objects. A large window looks out onto a bright, possibly snowy or overexposed scene. The bottom photograph shows a different room with a large, curved sofa covered in several pillows with a tropical print. In front of the sofa is a small, round, light-colored coffee table with a book and a small object on it. To the left, a tall, cylindrical lamp with a warm glow sits on a small table. In the background, a large window looks out onto a scene where a painting of two horses is displayed, and a person is standing near the window.

アートディレクターであるエロ・リツソーニ氏が掲げた。新作を発表するだけではなく、歴史的な名作や復刻に便値を見出し、現代的な色彩素材、技術を取り入れた名作と新作が競り出す独創的なレクションをみせた。

（じこさき）が羽はたいてい／＼さまが繰り返し映し出されていた。日本の伝統美が世界でも共感を得ているようだ。

店内のアクセントに1998年にはアキッレ・カステイリオーニがデザインした復刻版の照明「タラクサカム88」を展示した。タラクサカムはタンボボを意味し綿毛を連想させるオブジェのよくなべンダ

バリエーションがある織物はリサイクル可能なボリップ・ピレン製で防水加工を施した余剰素材だ。日本しさを感じさせる椅子やランプ・シェードなどを発表した。パオラ・レンティ氏は、創業時から「トレンドカラーや意識していない。自然界に溶け込むような色の広がりを目指している」と語っていた。生い茂る植物と呼応するように緑色のセラミックテーブルや編み込みの椅子が爽やかだ。

素材、技術を取り入れた名作と新作が紹介され、独創的なレクションをみせた。リツォー二氏が「デザイン」した新作のソファシステム「ダンボウエ」は、昨年発表した「ダンボ」の弟分。トレンドカラーのココナラ色がソフトな雰囲気を醸し出す革張りのソファだ。店内の随所に、日本画のようなガマの穂を背景に白壁

ント照明だ。  
ミラノ中央駅から3駅離れた地区に、40000平方㍍のミラノ初の旗艦店を開業したパオラ・レンティ。廃工場の跡地を保存しつつ、リノベー

シ二】で新作を発表した。テーマは「世界からの響き」。ジョルジオ・アルマーニ氏が旅するなかで、最もインスピレーションの源となつた欧州、日本、中国、アラビア、モロッコをイメージした部屋にアルマーニ氏の思い出が壁示された。

廃棄されるはずの素材に機能と美的価値を取り戻す「M O T T A I N A I (もったいない)」プロジェクトの第2弾は、佐藤オオキ氏が率いる nendoによるコレクショ

わった新作のデスクを披露した。模様は鎧からヒントを得たモザイク柄を水牛の角で表現。中国の部屋では、曲線が美しくゆつたりとしたソファが目を引いた。ソファの背後には、金箔をあしらったラッカー仕上げのガラス天板が特徴的。優美な棚が展示された。

「オーリサローネ」での新作

シ二】で新作を発表した。テーマは「世界からの響き」。ジョルジオ・アルマーニ氏が旅するなかで、最もインスピレーションの源となつた欧州、日本、中国、アラビア、モロッコをイメージした部屋にアルマーニ氏の思い出が壁示された。

バリエーションがある織物はリサイクル可能なボリップ・ピレン製で防水加工を施した余剰素材だ。日本しさを感じさせる椅子やランプ・シェードなどを発表した。パオラ・レンティ氏は、創業時から「トレンドカラーや意識していない。自然界に溶け込むような色の広がりを目指している」と語っていた。生い茂る植物と呼応するように緑色のセラミックテーブルや編み込みの椅子が爽やかだ。